

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
国際医療管理専門学校 浜松校	平成1年12月26日	山本 繁夫	〒430-0942 静岡県浜松市中区元浜町34-15 (電話) 053-476-5931				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人高村育英会	平成17年11月30日	理事長 高村 慎一	〒111-0052 東京都台東区柳橋2-20-14 (電話) 03-3866-0811				
目的	人命を預かる医療人として、人を思いやる心を教育の根底に、医療の現場を支える人材育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	専門課程 (商業実務関係)	医療事務秘書学科	平成6年文部科学省告示 第84号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2295	1095	390	810		
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人		75人	3人	17人	20人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学期末に行う定期試験結果、出席状況、授業態度を統合して評価			
長期休み	■学年始4月上旬 ■夏季:7月下旬～8月末 ■冬季:12月下旬～1月上旬 ■学年末:2月下旬～4月上旬		卒業・進級 条件	成績評価の基準に基づき、修業年限・時間数のクリアをした者			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 電話・保護者対応・訪問等で対応		課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動: 無			
就職等の 状況	■主な就職先、業界等 病院、診療所、薬局 等 ■就職率 ^{※1} : 97 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 97 % ■その他 (平成 28 年度卒業者に関する 平成29年5月1日 時点の情報)		主な資格・ 検定等	診療報酬請求事務能力認定試験、医療秘書技能 検定、医事コンピュータ技能検定、電子カルテ実技 検定、調剤事務検定、秘書検定、サービス接遇検 定、書写検定 他			
中途退学 の現状	■中途退学者 1名 平成28年4月1日時点において 在学者 66名 平成29年3月31日時点において 在学者 65名 ■中途退学の主な理由 体調不良 ■中退防止のための取組 入学前のイベント時に職種の意識付け。入学後の早期学生面談で問題や課題を把握。		■中退率 1.5 % (平成28年4月1日入学者を含む) (平成29年3月31日卒業者をを含む)				
ホームページ	http://www.ict-hamamatsu.jp/icms/						

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

- 求める人物像と教育方針のミスマッチを未然に防ぐために企業へニーズのヒアリングを行い、授業内容に反映させる。
- 医療の現場における必要な知識技術の習得をカリキュラムに組み込み、即戦力となる人材育成に寄与する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
倉田 康春	シーエス薬品株式会社 静岡支店 ME支援部 副部長	～平成30年3月31日	①
榎原 智宏	公益財団法人浜松市医療公社 浜松医療センター 医療クラーク課長	～平成30年3月31日	③
吉原 仁宣	医療法人弘達会 天竜すずかけ病院 副院長/国際医療管理専門学校浜松校 非常勤講師	～平成30年3月31日	
山本 繁夫	学校法人高村育英会 国際医療管理専門学校浜松校 校長	～平成30年3月31日	
久野 祐介	学校法人高村育英会 国際医療管理専門学校浜松校 副校長	～平成30年3月31日	
庄古 正仁	学校法人高村育英会 国際医療管理専門学校浜松校 医療教務課長	～平成30年3月31日	
夏目 純子	学校法人高村育英会 国際医療管理専門学校浜松校 医療教務課	～平成30年3月31日	
大垣 資子	学校法人高村育英会 国際医療管理専門学校浜松校 講師	～平成30年3月31日	
浅田 智美	学校法人高村育英会 国際医療管理専門学校浜松校 経理総務係長	～平成30年3月31日	

(開催日時)

第1回 平成28年8月22日 15:00～17:00

第2回 平成29年2月23日 15:00～17:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

- 業界に嘱望される人材として必要となる豊かな人間性や人格の育成・向上に重点を置いたマナー教育。
- 業界で求められている専門的な知識や技術の理解・習得。
- コミュニケーション力・行動力・協調性を柱に意識改革を行い、業界に適応するための社会人基礎力の向上。

(具体的な連携の例)

科目名	科目概要	連携企業等
病院見学	利用者としては入ることができない病院の施設、設備や職員の業務を観察し、病院組織を実践的に把握。	浜松医療センター
病院実習	現場で職員より指導を受け、仕事内容を理解し実践。業界人としての心構えや実践力の養成。	浜松市リハビリテーション病院、遠州病院、浜松北病院 他

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

- 職業教育協定書及び教職員研修規程に則り、実務・指導の研修を実施することにより、自らの知識と技術の向上を図り、教育水準を高め、時代の要請に沿った指導を実践できる教職員の育成を図り、学生対応に活かしていく。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価の基本方針)

- 社会貢献、企業連携をより強固なものとし、様々な視点からの意見やアンケートを運営に反映させ、充実した学校教育を行う。

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
佐藤 吉春	パナソニックメディコムネットワークス株式会社 営業統括部	平成29年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
板東 行雄	株式会社ビーアシスト 代表取締役 医療経営コンサルタント	平成29年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
浜林 彰	株式会社中部日本広告社浜松支社 支社長	平成29年4月1日～平成30年3月31日	地域住民代表
内田 綾美	主婦	平成29年4月1日～平成30年3月31日	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法・公表時期)

ホームページ <http://www.ict-hamamatsu.jp/icms/>

5. 情報提供

(企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針)

- 評価ご意見をホームページや学内掲示、委員会での報告を行う。また企業(病院)への定期的な訪問で学校運営に資するために全ての情報を提供する。

(情報提供方法)

ホームページ <http://www.ict-hamamatsu.jp/icms/>